

# 北海道浅井学園大学「AOC」講座の生涯学習効果

The lifelong learning support systems of a lecture of 「AOC」 in Hokkaido  
Asai Gakuen University

岡 元 眞 理 子

OKAMOTO, Mariko

## はじめに

生涯学習社会の充実は現代社会において、重要な生活目標といえる。生きることがどのようなことなのか、社会全体が考え出し、思索を練り、社会に反映させようとしている。様々な人々が、場所、時間、内容、目標、結果の異なる事柄について、学習するわけであるから、その達成度も様々である。しかし、個々の取組む姿勢、取り巻く環境、学習意欲などにおいては共通点も多く、同調する部分とそうではない部分もあり、生涯学習社会確立においては、まだ問題点が多いと考えられる。

ここでは、北海道浅井学園大学が行なっている音楽講座の中、「合唱」に関する講座について、これまで20回行われた実践記録を分析するものである。その上で、今後の展望にむけての節目とし、そこで学習された受講生の学習意欲や導入教材などについて、今後の生涯学習社会が担い狙う構築がどのようなものであるべきかを考えることにする。

## 1. 北海道浅井学園大学の生涯学習の取り組みの経緯と考察

平成3年（1991年）4月から浅井学園オープンカレッジ=AOCとしてスタートした。平成14年に北海道浅井学園大学生涯学習センターから発行された「創立十周年誌」55ページに〔浅井学園オープンカレッジの基本構想〕として述べられている最初の5行を参考に、本学生涯学習の取り組み経緯について、考えてゆくものとする。

以下の「浅井学園オープンカレッジの基本構想」についての『 』部分は初代校長白佐俊憲の編集責任により作成された「共通理解メモ」(平成3年5月16日現在)及び「浅井学園オープンカレッジ(AOC)運営の手引き」(平成3年11月1日現在)からの抜粋したものであることを前置きする。その内容は次のようなものである。

ここでは、『コミュニティーカレッジともいうべき生涯学習の場である。いわゆる公開講座とカルチャー・スクールを恒常的・継続的に開講するものであるが、浅井学園が設置する短大・専門学校の頭脳・人材・施設等を有効活用する高等教育機関と位置づけられる。これらの学校の伝統と特色を生かし、価値多様化・高齢化・高度技術化・国際化時代の要請に応えようとす

るものである。』としている。次にこのページの経営的構想にあっては、下記のようなキーワードを提示している。

『施設の有効活用』  
 『センスとアイデアで教育界の新風』  
 『三つの地域開講、江別校・札幌校・旭川校』  
 『頭脳・人材・施設・設備の社旗敵活用』  
 『社会人と在学生のダブルスクールとセカンドスクール』  
 『人材登録制度をとる教育支援者バンク』

上記のポイントを示唆しながら11年目を歩んでいる。

ここでは、今後の開講のあり方として、また今後の要望として次のことを述べている。

今後の開講のあり方としては、『地域社会からの要請があれば、AOC教授陣がその地域に向いて講座などを開くということも含められる』とある。今後の要望としては、『将来的には、一層豊富な講座を設定し、広範囲な地域の、幅広い年齢層の人に何時でも利用してもらえる総合生涯センターにまで発展させる展望をもつ。』と述べられている。今後において、大学が社会にどのように開かれた学び舎であり、どのように社会貢献が成されるべきか、地域社会の人との触れ合いを通じ地域から期待される場所と成りうるかなどが、問われることになる時代がきているといえる。昨今は社会全般が【生涯学習】という言葉が一人歩きしているともいえる。行政機関においての【社会教育課】から【生涯学習課】への名称移行し、個々の住民が主体性を持って学習する傾向を強めようとしているが、住民サービス機関としての【生涯学習】の提供が成されているかということには疑問が残る。その社会的傾向から本学の【AOC】講座は高等教育機関開講講座として、高度な学習機会を提供しているといえるのではないだろうか。その理由としては、施設による学習適応、教授による専門性、学習意欲を誘う環境などである。

## 2. 「AOC講座」の筆者担当合唱関係講座について

平成14年に北海道浅井学園大学生涯学習センターから発行された「創立十周年誌」と同センター資料提供を参考に、1. 講座名と受講者数一覧、2. 筆者担当開講名・受講者数について、掲載する。また、3. 今年度の講座の種類と申し込み数についても資料提出協力によりここに掲載するものとする。この資料提供により、AOCの地域貢献の進捗状況とまた「実力講座」「教養講座」「その他」などの受講者の移り変わりなどをみることができる。平成3年度開講時、35講座1,229人もの受講生を受け入れた。しかし翌年は34講座用意された講座数に555人の受講生と、11年間で最下位であった。

次に受講者が少ないのは12年目であった。

しかし、いろいろな年があったが、10年間の合計受講生は17,797人と大変多くの地域、社会人・大学生を受け入れてきたことは、大きな社会功績といえる。

## (1) 13年間の講座数・受講者数一覧

平成16年4月1日

年 度	実 力 講 座		教 養 講 座		そ の 他		合 計	
	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数
平成3年度	9	491	25	588	1	150	35	1,229
平成4年度	16	198	17	312	1	45	34	555
平成5年度	21	506	25	522	3	440	49	1,468
平成6年度	28	774	22	436	4	136	54	1,346
平成7年度	47	842	22	586	2	84	71	1,512
平成8年度	47	971	35	664	2	88	84	1,723
平成9年度	37	559	38	538	5	406	80	1,503
平成10年度	42	685	41	559	2	141	85	1,385
平成11年度	43	903	53	585	3	203	99	1,691
平成12年度	30	472	42	464	1	58	73	994
平成13年度	24	415	46	689	2	323	72	1,427
平成14年度	24	397	45	619	4	293	73	1,309
平成15年度	33	803	43	447	17	405	93	1,655
合 計	401	8,016	454	7,009	47	2,772	902	17,797

## (2) 13年間の検定数、受講数一覧（学内実施検定：生涯学習センター関係分）

年 度	検 定 講 座		年 度	検 定 講 座	
	検 定 数	受講者数		検 定 数	受講者数
平成3年度	25	1,538	平成10年度	39	5,304
平成4年度	26	1,601	平成11年度	37	5,360
平成5年度	34	5,011	※平成12年度	0	0
平成6年度	38	5,717	※平成13年度	0	2,575
平成7年度	41	5,555	平成14年度	4	0
平成8年度	39	5,488	平成15年度	0	24
平成9年度	39	5,075			(ビジネス能力検定3級)

※平成12年度からは就職課が担当。※平成13年度は英語技能検定のみ実施

## (3) 筆者担当音楽分野系講座の講座名と日程・回数・受講者数

	講 座 名	日 程	回数	受講者数
1	1998年後期 教養講座 ボイストレーニングとコーラス	10/5・12・19・26 11/2・9・30 2/1・8・22 月曜日 10:00~11:30	10	40
2	1999年前期 教養講座 ボイストレーニングから楽しい女声合唱へ	4/12・19・26 5/17・24 6/14・21 7/5・12 月曜日 10:30~12:10	9	27
3	2000年前期 教養講座 楽しいコーラスのボイストレーニング	5/22・29 6/5・12・19・26 7/3 月曜日 10:00~12:00	7	20
4	2000年後期 教養講座 楽しいコーラスのボイストレーニング	10/13・20・27 11/10・17・24 12/1 金曜日 13:00~15:00	7	12
5	2001年前期 教養講座 楽しいコーラスのボイストレーニング	5/18・25 6/1・8・15・22 金曜日 10:30~12:30	6	16
6	2001年後期 教養講座 楽しいコーラスのボイストレーニング	10/3・10・17・24 11/7・14 水曜日 10:40~12:10	6	16
7	2001年後期 教養講座 楽しいコーラスのボイストレーニングⅡ	11/21 12/5・12・19 水曜日 10:40~12:10	4	15
8	2001後期 教養講座 楽しいコーラスのボイストレーニングⅢ	2/20・27 3/6・13・20・27 水曜日 10:40~12:10	6	16
9	2001年後期 1 DAYセミナー いつまでも歌える発声法(年を重ねて更にうまくなる発声法)	10/31 水曜日 10:40~12:10	1	18
10	2002年前期 教養講座 楽しいコーラスのボイストレーニング	6/4・11・18 7/2・9・16 火曜日 10:40~12:10	6	23
11	2002年前期 1 DAYセミナー いつまでも歌える発声法	5/7 火曜日 10:40~12:10	1	18
12	2002年後期 教養講座 楽しいコーラスのボイストレーニング	10/2・16・23 11/6・13・20 水曜日 10:40~12:10	6	14
13	2002年後期 1 DAYセミナー いつまでも歌える発声法(年を重ねて更にうまくなる発声法)	11/27 水曜日 10:40~12:10	1	20
14	2003年前期 教養講座 なつかしい日本の歌とイタリア歌曲を歌いましょう	5/6・20・27 6/10・17・24 火曜日 10:40~12:10	6	18
15	2003年前期 1 DAYセミナー 歌うことは発声法から(唱歌からはじめましょう)	7/22 水曜日 10:40~12:10	1	7
16	2003年後期 教養講座 なつかしい日本の歌とイタリア歌曲を歌いましょう	10/8・15・22・29 11/5・12 水曜日 10:40~12:10	6	20
17	2003年後期 教養講座 なつかしい日本の歌とイタリア歌曲を歌いましょうⅡ	12/3・10 水曜日 10:40~12:10	2	11
18	2003年後期 1 DAYセミナー いつまでも歌える発声法(おしゃれに若返る歌声)	11/19 水曜日 10:40~12:10	1	15
19	2004年前期 教養講座 なつかしい日本の歌とイタリア歌曲を歌いましょう	5/11・18・25 6/1・8・15 火曜日 10:40~12:10	6	12
20	2004年前期 1 DAYセミナー いつまでも歌える発声法(おしゃれに若返る歌声)	6/22 火曜日 10:40~12:10	1	20
			合 計	358

上記の開講年度と開講講座20回、受講数358人となる。今年前期「1 Dayセミナー」で20回となり、20回講座の内、半分以上受講している方が数名おり、その受講生仲間の心境としては、入れ替わり立ち代り新しい仲間とまた旧友との交流など様々な思いで、20回目を迎えたようだ。指導の側としては、毎回受講生を募るわけであるから、筆者の指導力としての、壮年層への話術や一般教養など問われ、毎回毎回「授業評価」を受けているようなものである。受講生は辛辣に評価を下す。気にいらなければ次回の受講を断ることを自由気ままにする権利を有するからである。入学したわけではなく、卒業をするでもなく、趣味嗜好でここの講座を選び、学習をする生涯学習であるから、指導者を厳しく観察し、自己の学習意欲と向上を自己が期待するのである。

### 3. 「合唱」講座の経緯と内容

経緯は1995年一般「公開講座」として、1回の講座を「生涯学習センター」から依頼を受け実施した。その後3年後の1998年から「教養講座」として今年前期で20回となる。

内容は当初、「公開講座」では手話を取り入れた合唱を一般社会人の方に教えた。

東京での劇団四季での手話を取り入れた演劇に感激し、またスウェーデンでの手話つき歌唱に感銘を受け、すぐさま当時非常勤講師をしていた専門学校で「手話合唱」の科目追加をし、1985年から指導していた。感性と歌と詩での情操表現を試みたのである。その後本学「教養講座」では、「声と心」に重点を置き、声が心の情念からしか発声できないこと、つまり感性が、自然に表出されたとき、声が出ることを指導した。

美しいという感激、悲しい失望、喜びが溢れたときなどである。同じ旋律を歌っていても情感の表出が優れていない感性を持ったものには、声に情感を感じられないといえる。人としての感性の表現により、生活に潤いや充実感などを感じられるように指導をしていった。次にどのような曲目とどのように歌う作業を導いてきたかを述べる。

講座内容については「生涯学習センター 筆者担当講座導入曲一覧」を参考に導入曲目と歌うことの学習効果のねらいなどについて下記表にて上げる。

(1. 年齢はどの講座も40代～70代といえる)

(2. 受講人数については前に掲載)

#### (4) 生涯学習センター 筆者担当講座導入曲とねらいと効果について一覧

開講年次	曲 目	学習のねらいと効果
1. 1998年 後期 (ボイストレーニングとコーラス)	①うぐいす 文部省唱歌 作詞 林柳波 作曲 井上武士	ねらい ・季節感と情操の向上 ・8分音符と言葉の明瞭な発音習得 ・音程差(5度から6度)での披裂軟骨横筋の収縮振動の練習 (効果が得られた点) 話言葉がきれいに発音できるようになったと全員が喜んでた。 [達成度=高かった]

	②うさぎ 文部省唱歌	ねらい ・情景の想像力効用 ・旋律の起状に声を載せること (効果が得られた点) 幼児期の自然と家族への思い出を表出できた。歌うことへの意欲を自ら出させることができた。[達成度=高かった]
2. 1999年 前期 (ボイストレーニングから楽しい女声合唱へ)	①月の砂漠 作詩 加藤まさを 作曲 佐々木すぐる	ねらい ・詩の持つ情感の表出發声方法 ・付点の歌い方 ・レガート唱法とブレス方法 ・高音域での高音の出し方 (効果が得られた点) 詩の理解により、ブレスが長く続き、健康にも良いと思えるとの声が聞かれた。メゾピアノ～フォルテの移行がうまくいった。[達成度=高かった]
	②ねむの木の子守唄 作詞 美智子皇后陛下 作曲 山本正美	ねらい ・鼻音からの発声 ・心の平穏からの発声維持 (効果が得られた点) 動揺を無くして鼻音発声効果が得られた。[達成度=高かった]
1999年 総括	半期だけであったため、初歩的メソッドで終わった。しかし、社会人講座としての学習ということでは、生活上の健康やゆとりに繋がったといえる。声休めに会話をはさみ、受講生に休息をとって次の練習に入るが、その話が面白いと評判が得られた。	
3. 2000年 前期 (楽しいコーラス)	①十五夜お月さん 作詞 野口雨情 作曲 本居長世	ねらい ・高音部の高口蓋と中舌の処理 ・童謡の歌い方とその歴史に触れる ・テヌートの筋肉の支えについて (効果が得られた点) 口の開口を矯正し、高音部発声に備えることができた。筋肉の支えは時間がかかる状態で引き続き練習を有する。[達成度=高かった]
	②教会のアリア 作詞 Alessandro Stradella	ねらい ・イタリア語の特徴的発声法を指導 ・イタリア語発音指導 ・外国の教会風景・雰囲気などのイメージを抱かすこと (効果が得られた点) 外国の教会を思い浮かべて歌うことができ、気分転換が図れた。[達成度=高かった]
4. 2000年 後期 (楽しいコーラスのボイストレーニング)	①待ちぼうけ 作詞 北原白秋 作曲 山田耕筰	ねらい ・高音部でのタンギング練習 ・軽快なリズムでの横隔膜下向法 ・U・ウ発音での高音部移行法 (効果が得られた点) 発声において重要な体の使い方の理解ができた。体を使うのには時間がかかるが狙いを個々で持つことへ導くことができた。[達成度=高かった]
	②里の秋	ねらい ・昭和16年の「星月夜」の話と理解 ・故郷を思う気持ちを表現する発声 ・13・14小節目の8分休符の息止について (効果が得られた点) 旋律の流れを途切れのないように心を込めて歌えた。 [達成度=高かった]

5. 2000年 総括	前期と後期ともに行なわれた。日本語発声と日常会話発声との学習であった。唱歌と童謡の思い入れの違いも浮き彫りとなったといえる。童謡の歴史にも触れることができた。	
6. 2001年 後期 (楽しいコーラスのボイストレーニング)	①ベチカ 作詞 北原白秋 作曲 山田耕筈	ねらい ・休符の歌い方 ・破裂音の処理 ・テンポの動き  (効果が得られた点) 会話として語る歌い方を指導できた。山田耕筈の直弟子の鉄弥恵子氏からの直伝の「ベチカ=ペイーチカ」と読むことを教えた。[達成度=低かった] 「反省点」老年特有の声帯組織の内容が減少したための回復が成されていないため、その粘着的発語は遅くなり、だんだんテンポがゆるみ遅くなる。今後は会話の早さに加え、発音練習からの練習である。今後朗読を含め練習設定を見直すこと。
	②アリラン 韓国民謡	ねらい ・隣国の文化に触れる ・アリランの言葉の持つ哀愁を個々に尋ね、歌う時に導入する。歌われた時代の思い出も尋ねる。支障がある人の場合は尋ねない ・フェルマータを付ける箇所を指導  (効果が得られた点) 気持ち良く歌うことができる。哀愁感を表現し、テンポにおいて開きを置くことができた。A母音とRI(舌で前梗口蓋を蹴るようにぶつける練習ができた[達成度=高かった])
	③かやの木山 作詞 北原白秋 作曲 山田耕筈	ねらい ・Allegroで“お話”として歌う ・短小節間感情移入表現 ・情景を設定し、ひとつの話として繰り広げる  (効果が得られる点) 幼い頃の情感を思い起こすことにより、感性を高める。その結果、声の振動数値を高め、ピッチを上げる。その時の甲状軟骨位置を高めに設定できるようにする。これによって発語の鮮明、音程などが整う。[達成度=低かった]「反省点」は声帯支持筋を振動させる体力と運動能力の衰えがある。食事を噛む力を促進する方法を考えてゆき、年齢を考慮することが必要である。
7. 2001年 後期 (楽しいコーラスのボイストレーニングⅡ)	①秋の月 作詞 滝廉太郎 作曲 山田耕筈	ねらい ・低音部からの出だしの構え方 ・悲しみの表現をテンポIで歌う。 ・レガートを美しく発声するための腹側筋の使い方を習得し8分の6拍子のリズムを掴む。  (効果が得られた点) 腹側筋の運動の導入ができた。8分の6拍子が苦手らしかったのでその練習を歩いて覚える。[達成度=中程度]

	②私を泣かせてください。 作詞 Giacomo Rossi 作曲 Georg Friedrich Hendel	ねらい ・イタリア語のレスタティーヴォの歌 い方 ・5度への跳躍音発声法 ・有名な曲のため癖を取る (効果が得られた点) レスタティーヴォがうまくゆかない。古典曲のしゃれた部分を理解する。このことにより、バロック音楽の理解ができる。[達成度=高いといえる]
8. 2001年 後期 (楽しいボイストレーニングⅢ)	①たとえつれなくとも 作詞 不明 作曲 Antonio Caidare	ねらい ・イタリア語の口腔内で溜めて発声する方法の指導 ・イタリア語での悲しみの表現法 ・発音の明瞭性について (効果が得られた点) 母音の発声がよく歌えた。タンギングがうまくなった。苦しい心境を声が軽々出る表情で歌うことを課題とした。良くできた。[達成度=高かった]
	②遠き日々 作詞 原 民嘉 作曲 団伊久磨	ねらい ・美しい詩の理解 ・レガート唱法 (効果が得られた点) 何度も歌うことにより詩の理解が得られる。なめらかに歌うことでは母音でつなげる方法を導入した。[達成度=高めであった]
9. 2001年 後期 (1 Dayセミナー・いつまでも歌える発声法)	①七里ヶ浜 作詞 西田幾太郎 作曲 団伊久磨	ねらい ・日本の情緒を表現し、短旋律の特徴を掴む ・情景を描くこととは ・初歩の発声法も指導する。 (効果が得られた点) 日本語発声法で歌うため「歌」に親しみを感じることができたとの声があった。日本語のニュアンスは年齢的に応じたものでよく、歌う心を育むこととしたため、導入が易しく行なわれた。[達成度=満足]
	②愛の喜び 作詞 不明 作曲 G.Martini	ねらい ・イタリア語の理解 ・曲想の理解 ・破裂音の舌位置確認 ・巻き舌の訓練(唾液促進) (効果が得られた点) テンポに合わせてイタリア風に歌うことができた。そのことがイタリアに旅行した気分になったとのことで、想像力を養うことができた。[達成度=良い]
2001年 総括	公共機関や市の講座とは違うものを設定した。大学での授業を受けたいという受講生が多くそれに答えるべき、より専門的であり、かつ初心者も受けられるようにとの内容になったと思える。	
10. 2002年 前期 (楽しいコーラスのボイストレーニング)	①希望のささやき 作詞 津川圭一 作曲 ホーソン	ねらい ・外国の古い歌であるが日本の曲と共通性を探る。 ・外国の歌詞に日本語をつけたものが歌いづらいことへの理解 (効果が得られた点) 歌いづらいがよく歌っていた。また、日本に入ってきた歴史にも触れることができた。コーラスでこの曲を練習したことがあるため積極的に参加。[達成度=良い]



	②青い目の人形 作詞 野口雨情 作曲 本居長世	ねらい ・童謡の理解 ・音程が広い歌い方の勉強 ・16分音符の経過音の学習 (効果が得られた点) かわいい気分と女の子の愛らしさを表現した。装飾音符ではないが、似た素養のものの歌い方の練習ができた。[達成度=良い]
11. 2002年 前期 (1 Dayセミナー・いつまでも歌える発声法)	①海 文部省唱歌	ねらい ・のどかな海の様子を歌うこと ・短い旋律の中、情景と詩を歌うこと (効果が得られた点) FとCのない旋律の特徴の把握、旋律が単調であるが、モダンである歌い方ができた。[達成度=高い]
	②紅葉 作詞 高野辰之 作曲 岡野貞一	ねらい ・芸術的に歌い上げる ・鮮やかな色彩を感じる ・言葉から情景を浮かべる (効果が得られた点) リズムカルに歌えた。情景に色を添えることができた。こんなに大曲なのかと感想が聞かれた。[達成度=高い]
12. 2002年 後期 (楽しいコーラスのボイストレーニング)	①春の朝 作詞 青木 貞 作曲 Mendelssohn	ねらい ・テンポの軽さを出す ・ブレスの呼気・吸気について (効果が得られた点) ブレスの練習がうまく導入できた。言葉が旋律にはめ込むのがうまくゆかなかった。[達成度=中ぐらい]
	②浜千鳥 作詞 鹿島鳴秋 作曲 弘田廉太郎	ねらい ・鼻音の歌い方について ・レガートでの上行形での発声 ・情景のイメージと声 (効果が得られた点) 鼻音が最初全員が鼻声であり、鼻音は鼻声と思っていたようだ。うまく歌えた。レガートの時詰まった声になるため、軟口蓋を上げる練習ができた。[達成度=高い]
13. 2002年 後期 (1 Dayセミナー・いつまでも歌える発声法)	①マリア マーテル グラ ーチェ	ねらい ・開口を小さめにするために練習 ・舌の位置確認 (効果が得られた点) 開口の正確さができたため息に無駄が生じなくなった。舌骨の設定位置に置くことを教えた。[達成度=高い]
2002年 総括	専門的な事柄を指導したが、社会人講座としては高度なものであった。しかし、学習心が旺盛であり、さらにと進めてゆけると確信をもった。	
14. 2003年 前期 (なつかしい日本の歌とイタリア歌曲を歌いましょう)	①ひまわりの風 作詞 中村千枝子 作曲 石井 敏	ねらい ・明るい感情移入表現について ・飛躍する音程の正確さを考える ・言葉のレガート (効果が得られる点) 現代的な明るい声を出す発声法を指導できた。[達成度=高い]
	②大きな古時計 訳詞 保富 康午 作曲 H.C. ワーク	ねらい ・実話の話をどのように歌うか ・楽しくも悲しいところを表現する (効果が得られる点) お話として、聞かせる歌として工夫すること。[達成度=高い]

15. 2003年 前期 (1 DAYセミナー・ 歌うことは発声から)	①おぼろ月夜 文部省唱歌	ねらい ・ 淡々と歌う声の出し方について ・ 声の安定を考える ・ レガートと言葉の関係について (効果が得られる点) 心の安らぎ、癒しに繋がる。[達成度=低い]「反省点」よく知っている曲であるため、幼児発声と節回しに特徴を出そうと試みるために、素朴さが出ない。今後は発声練習でロングトーンを多く試みたい。
	②向う横町 わらべうた 作曲 本居長世	ねらい ・ 話口調での刻みかたの練習 ・ 腹直筋を真直ぐにして、腹壁で処理する吐き方呼吸の勉強 (効果が得られる点) 同じテンポで同じ呼吸で維持する方法を学べる。[達成度=高い]
16. 2003年 前期 (なつかしい日本の 歌とイタリア歌曲を 歌いましょう)	①うぐいす 作詞 林 柳波 作曲 井上武士	ねらい ・ 田舎の風景を想像する力 ・ 日本の季節感を味わう (効果が得られる点) 季節の歌が重要な情操であること、音楽が生活とともにあることを理解する。[達成度=高い]
	②To night 作詞 S. ソンダイン 作曲 バーンスタイン	ねらい ・ 映画の一コマを思い出すこと ・ 声を伸ばす体の支えについて (効果が得られる点) 映画のダンスや情景を思い出しながら歌う。このことによって歌いかたが変わる点を学習する。[達成度=中くらい] 「反省点」旋律や言葉を覚えられないため、消極的な声となる。
17. 2003年 後期 (なつかしい日本の 歌とイタリア歌曲を うたいましょうⅡ)	①トロイカ ロシア民謡	ねらい ・ リズミカルな雪原を走るリズム ・ リズムの取り方 ・ デナーミクの付け方 (効果が得られる点) 楽しい雰囲気ですぐ歌える。歌の様子が昔の生活に重なる点がある。[達成度=高い]
	②ともしび ロシア民謡	ねらい ・ 深々とする冬に力強く生きる北国の思いを歌う。季節を感じる (効果が得られる点) 長いフレーズを歌うことが出来るブレスの練習。心理的に寒いことが楽しいと思えるように歌うこと。[達成度=良い]
18. 2003年 後期 (1 Dayセミナーい つでも歌える発声 法)	①白バラのにおう夕べは 訳詩 高橋信夫 作曲 ネーゲリ	ねらい ・ ゲーテ「野ばら」の作品の説明 ・ 旋律のなめらかさを歌う練習 (効果が得られる点) 大きな旋律を把握し、歌うことを学べる。言葉は訳してあるので、音符にはめ込めるように何度歌ってみる。[達成度=中くらい]
	②ずいずいずっころばし わらべうた	ねらい ・ 早口で面白く歌う ・ リズムをいくとおりにも変えて歌うことにより、ジョークが勉強できる。 (効果が得られる点) わらべうたの面白いところ、こわいところを学ぶことにより日本のわらべうたの理解ができる。[達成度=高い]

	<p>③Lascia chio piannga          作詞 ジャーコモ・ロッシ          作曲 G.F.Heendel</p>	<p>ねらい ・レスタティーヴォを美しい発音で          ・心を込めて、旋律に任せる歌い方          (効果が得られる点) 気持ちよく歌うことにより歌が好きになれる。アクセントに気をつけて歌えると音楽が流れる。旋律が美しいため、声の出し方に気を取られがちであるが、無の心境で演奏することが重要なポイントであることを理解すること。[達成度=良い]</p>
2003年 総括	<p>季節感のある歌、また、癒しや生活にゆとりができるように、のんびり歌い込める歌を選択した。世の中が気ぜわしいので、音楽でくつろげるようにと指導を行った。世界の歌がすぐに手に入るが、歌う心は時代が変化しても変わらないということが、芸術であり、その中でも歌は最古の芸術といえる。昨今、カラオケなどはマイクを通し、歌う側の満足は得られるが、聞く側には心が伝わらないとの声も聞こえる。その両方の接点を見出し、歌うことを指導できた。</p>	
19. 2004年 前期 (なつかしい日本の歌とイタリア歌曲を歌いましょう)	<p>①城が島の雨</p>	<p>ねらい ・日本の港の風景を歌う          ・短旋律の中の言葉が沈まないように気をつける          ・日本語の発音に気をつける          (効果が得られる点) 情熱的な音楽進行を持っているため、西洋音楽におとらない優れた点がある。そこをしっかりと歌えるように指導しなくてはならない。[達成度=高い]</p>
	<p>②波浮の港</p>	<p>ねらい ・暗くならないように歌う          ・しゃれた点も歌えるようにする          (効果が得られる点) 日本の流行歌の始まりの時点にあるクラシックとの境目にある歌を把握し、音程が不安定に流れないように気をつける。[達成度=中くらい]</p>
	<p>③Piacere damor          作詞 不明          作曲 ジョバンニ マルティネ</p>	<p>ねらい ・幸福感を歌う          ・イタリア語が難しいのではなく、心を込めるのが難しいということを知らせる          (効果が得られる点) 歌う前にイタリア語を難しいと思い込んでいた。発声、曲想は自然に表現できる。[達成度=低い]「反省」横文字に恐怖を持っており、何度も発音を練習したがうまくゆかない。なぜイタリア歌が大事かは十分指導できた。しかし歌うことは苦手であった。今後は、横文字恐怖症を直さなければならぬと感じた。</p>
20. 2004年 前期 (1 Dayセミナー・いつまでも歌える発声法)	<p>①早春賦          作詞 吉丸一昌          作曲 中田 章</p>	<p>ねらい ・8分の6拍子の歌い方          ・4度5度6度と音程の開きの練習          ・最後の余韻を残すところの気持ちの入れ方と歌い方          (効果が得られる点) クラシック唱法の練習ができる。言葉を6拍子に載せるのが難しい。[達成度=中々良かった]</p>

21.2004年 後期 (なつかしい日本の 歌と童謡の歌)	①あわて床屋 作詞 北原白秋 作曲 山田耕作	ねらい ・言葉を音符にはめる ・物語をしっかりと語る ・音の動きを先取りして歌う (効果が得られる点) タンギングを滑らかにする。聴衆に笑ってもらえるように、はっきり歌詞をしゃべる。そして、それが、歌となるようにする。[達成度=中くらい]
	②教会のアリア 作詩 不明 作曲 アレッサンドラ ストラデッア	ねらい ・高い音を横隔膜で支える練習 ・ゆったり歌うことで、祈りの心を表現する (効果が得られる点) イタリア歌曲への理解、イタリア語の慣れを期待する。大曲のため、持続する精神を鍛えることができる。[達成度=高い]
年度別 全体報告	今年度はイタリア語導入により、声楽の基礎であるイタリア語の発声と発声メソッドの指導書に基づいて良いトレーニングができた。歌は心で歌うものといわれるので、心理状態の想像と心身開放と兼ね備えて行なうことができた。	

※上記21回は曲数において3～6曲取り上げて練習してきたが、ここでは、中心的1～3曲を掲げている。また、21回目・22回目は修了したばかりである。

#### 4. 「合唱」講座で学習する年代と求める学習とは

筆者の「合唱」に関する講座には、50歳代から70歳代までの受講者が大部分である。その中で音大関係出身者、音楽関係指導者などが2割おり、その他は地域の合唱団入会者、以前入会経験者が6割、青年期、学童期経験者や初心者が2割である。その回によって異なることもあるが、20回の人数内訳はこのようなものである。さて、壮年期の生活状況は学習生活に適しているといえるか、どうかを次のアンケート集計により、示し今後の生涯学習を探りたい。

##### (5) 受講者の生活パターンアンケート

目的=壮年層における余暇の時間帯と学習欲について調査し、どのような時間帯に何を行なっているかを知り今後の参考とすることを目的にした。

	質 問	回 答
1	あなたの年齢に近いところはどこですか。	40代 [10%] 50代 [20%] 60代 [60%] 70代 [10%]
2	家族数は何人ですか	1人 [40%] 2人 [50%] 3人 [10%] 4人 [ ] 5人 [ ]
3	起きる時間、または目ざめる時間は何時ですか。	5時より前 [10%] 5時 [40%] 6時 [30%] 7時 [20%] 8時 [ ]
4	就寝時間は何時ですか	20時 [ ] 21時 [10%] 22時 [40%] 23時 [50%] 24時 [ ]
5	あなたは習い事をしていますか。	はい [70%] いいえ [30%]
6	習い事はどのような分野ですか	文化系 [70%] 体育系 [10%] 生活系 [20%]
7	習い事の指導者は専門家ですか	専門家である [100%] 専門家ではない [ ]
8	専門家の指導を望んでいますか	いる [100%] いない [ ]

9	この講座の指導者は専門家ですか	専門家である [100%] 専門家ではない [ ]
10	この講座は楽しいですか	楽しい [80%] 楽しくない [ ] どちらともいえない [20%]
11	どちらともいえないと答えた理由を文字で書いてください	難しい、講座仲間と仲よくできない、自分がうまく歌えない、大学の雰囲気になじめない
12	合唱経験はありますか	ある [80%] ない [20%]
13	日本歌曲とイタリア歌曲ではどちらが好きですか	日本歌曲 [50%] イタリア歌曲 [50%]
14	童謡を歌うことがありますか	ある [70%] ない [30%]
15	今後この合唱講座で行なってほしい事をいくつでも文字で書いてください	学外施設でも開設してほしい、毎日でも大学に通いたい、許されるものなら大学生になりたい、学生との歌いたい、発表会やコンサートを開きたい

(6) あなたの時間帯と作業について書いてください。(主婦100%)

時 間	作 業 項 目	内 容
5 : 0 0		5時前または5時起床が50%
6 : 0 0	起床・朝食準備	30%起床
7 : 0 0	食事・掃除、洗濯	家族へのサービス
9 : 0 0	余暇 (学習・外管理)	カルチャーセンター・自学自習など (デイ・サービスなどの利用により余裕ができた)
12 : 0 0	昼食	カルチャーセンター・友人と情報交換
13 : 0 0	余暇	カルチャーセンター・友人と情報交換
15 : 0 0	買い物	買い物・カルチャーセンター
17 : 0 0	夕食準備・夕食	家族へのサービス (介護、養育含む)
19 : 0 0	夕食片付け	家族へのサービス (介護、養育含む)
20 : 0 0	入浴	家族へのサービス (介護、養育含む)
22 : 0 0	就寝用意	22時までに就寝50%
23 : 0 0	就寝	23時以降50%
24 : 0 0		

※ (2003年11月5日実施、本学合奏室にて) (2004年11月2日実施、本学844教室にて)

集計：2004年11月16日

上記記載のように一般の主婦において1日の中で学習時間として可能な時間は最大7時間最小3時間所持できる。そのためには、家庭状況整備など諸条件が整う必要があるが、多くの主婦は自分の時間において裕福といえる。家事において条件が整い、電気製品の充実、サービス企業の充実により主婦労働時間の削減へ繋がった。

これらの余暇 (家事労働以外の時間を指す) を何に費やすかということが、知的教養保持、休養獲得、経済的向上などへと移行されることとなった。その時間分類からの社会が要求する充足度充実度をどこに置くかによって、生活のゆとり、向上、生涯学習、家庭奉仕・社会貢献での向上意欲へと改善が図れるといえる。

さらに仕事を持った女性は上記の仕事を社会サービス機関に委ねるため、主婦労働種目が減り、その分社会経済機構が業種などの活発化に繋がるといえる。北欧諸国、ドイツなどのヨーロッパにおいての社会労働機構に女性進出がスムーズに行なわれている背景には、上記のよう

な家庭内労働の対処として家庭内労働を職業として家庭外労働として還元するため労働力と雇用力が満たされ、成功しているといえる。日本での「惣菜業」「クリーニング業」「掃除代行業」などといえる。諸外国では、「家政婦制度」「ベビーシッター組合」などあり、また、インターネット販売による食材の買い物など家庭の主婦の仕事はないといえるほど減ってきている。デンマークやノルウェーでは「主婦」という言葉が存在しないことも「主婦」「主婦業」とは何かを考える時期にきている。そのために学び、貢献し、還元するトリプル形態が必要といえる。

(7) 「合唱」講座の生涯学習効果についてアンケート

問	い	意	見 (%)
1) この講座を受講して、生活面で効果があったと思われませんか。		○生活に張りが出てきた (35%・29人) ○家庭でよく歌うようになった (23%・19人) ○講座にくるのが楽しみになり、でかけるまでの仕事が楽しくなった (12%・10人) ○歌ばかりではなく、生活の中でも感じる場面があった (8%・7人) ○心の安らぎを感じる (6%・5人) ○声が出るようになったため、性格が明るくなった (6%・5人) ○家族との接し方も変わった (5%・4人) ○1週間にメリハリができた (5%・4人)	
2) 合唱は楽しいですか。どのようなところが楽しいのですか。		○歌を歌うことが楽しい ○心を一つにして歌う喜び ○心が開放されて、忘れかけていた豊かな気持ちを思い出した ○皆さんと逢い歌うことが楽しい ○心が洗われるようである ○ハーモニーをひとつにして仲間意識が出て楽しい	
3) 声を出すことはどのように思いますか。		○体全体で声を出す事ができる (○元気が出る○健康に良い) ○病気の時は自分の体のことで精いっぱい声を出せなかった ○感情を表現すること (○自分を解放すること・心の開放) ○ストレス解消 (○全て忘れる○声を出すと若くなるみたい) ○全身運動と呼吸器を強くすることができると感じる	
4) 次のサークルに入ることがありますか。		合唱関係 (60%) 楽器団体 (30%) 舞踊関係 (10%)	
5) コンサートに行くことがありますか。		4～5、それ以上ある (40%) 3回 (40%) 2～1 (20%) 行ったことがない (0)	
6) この講座は満足でしたか。		満足 (90%) 不満足 (10%) ※不満足の理由、外国語が難しい (2人)、講座回数が少ない (4人)	
7) 一カ月間において必要生活費の他、次のどこに、金銭を使いますか。		情報交換・友人との会話 (21%)、雑誌・書籍購入 (26%)、カルチャーやAOC講座などの参加費 (38%) 衣服類購入費 (8%) 補充住宅費 (7%)	

2003年11月5日57人実施、2004年6月9日12人に実施、2004年11月9日13人に実施

以上、アンケートの結果である。結果として、AOC受講生は学習心旺盛で、熱心で学習意欲が高いといえる。家庭人として、自己開発、自己責任上、通学してきたといえる。また、新

しい出会いにも期待や希望を持ち、その環境に順応しようとするなど、一生涯を通じて学ぶ姿勢を貫いているといえる。金銭面においては、夫や家族のもと、節約しての通学である。しかし、衣食住以外の必要経費以外を、学習などの情報交換や知識吸収に、統計においては消費金額を自由に使っているといえる。

## 6. 「合唱」講座の大学以外での生涯学習の様子

次の機関が解説しているものが多い。

①各区民センター開講講座、②新聞社関係開講講座、③デパート関係開講講座、④通信講座

これらの①は無料（材料費、教材費のみの徴収）の場合が多い。②と③は主催機関の宣伝も兼ねているが、授業料は高い。しかし、講師陣に工夫をしており、「時の人」といわれる有名人なども招いて話題を呼ぶことを狙っている。④は外出せずに行なえること、また、人との交流をしなくともいい点が上げられる。「カルチャー」講座として、人とのコミュニケーションを楽しみに受講する人が多いが、その交流が苦手な方も多い。そのような人も学ぶ機会は平等に与えられるのが、生涯学習である。年齢・環境・場所・期間などにもこだわらず自由に自己学習できる点である。参加費、教材費、伴奏費指導費、施設他準備費はまちまちである。本大学AOC講座より割高といえる。

## 7. 求めるべき生涯学習への提言（24回の「合唱」講座経過から）

日本において合唱は1900年代中旬に入り、職場の歌声運動的広がりがブームとなり、学校教育現場よりも、社会人にこそ盛んに歌われていた時代がある。また、ラジオ・テレビなども娯楽要素の音楽番組が増え、合唱やハーモニー重視の番組も増え出した。生涯学習の志については本大学においては、「創立十周年誌」に述べられており、ここでは割愛する。

当初、「合唱」講座は初めて歌う人を対象に公開したが、「ヴォイストレーニング」を指導の中に組み入れた。そうすると、各合唱団からの受講生も来た、また、音楽学校卒業者、看護師、小・中学校教諭経験者など様々な受講生が集まった。そうなるに指導の焦点をどこに置くかである。声楽の基礎である「ベルカント唱法」「ドイツ唱法」「声楽発声法」などを導入することにした。ドイツ・ミュンヘンのサバリツシュ先生、イタリア・パルマのチャンネッラ先生、ともに合唱の原点は声楽であるとの意見であり、焦点は発声法であり、基礎に戻ることもとなった。講座数は2004年後期講座2回を加えるが、実際は1995年から1998年までに2回の開講がある。24回となる。ここにきて、受講生固定化の利点と受講停止の原因がわかってきた。受講生固定化は必ずしも喜ぶべきではなく、受講生側からみると、新受講生は入会しにくい雰囲気となる。既存の受講生はコミュニケーションが十分に取れており、新入りはその集団に入るのに、神経が痛む人もいた。既存の地域の講座に参加せず、大学プログラムに参加したのは、人との関わりが苦手なためでもある人もいるといえる。しかし、その習慣を是正する場所としても当講座は期待が持てるともいえる。また、受講停止は、新受講生が多い時、学習において初

めからの内容を講義しなくてはならない。そのため、既存の学習者は飽きてしまうというデメリットが生じた。しかし新受講者が入会することで、新鮮な雰囲気となり、さらに同じ顔ぶれから、安心感が得られる利点もある。知的資源の共有することの喜びに繋がったといえる。

「合唱」そのものが持つ健康的特質は、多くの方面に期待されている。音楽療法においても「歌うこと」の重要性が次のようなことで実証されている。

1. 呼吸を整える（音楽性によって規則的な呼吸、不規則な呼吸などを人為的に訓練することができる）
2. 体全体を使うため、各種筋肉鍛錬がおこなえる（特に、腹筋、背筋、咽頭筋、横隔膜など）
3. 言葉の正確な発音維持に優れている（舌や大頬骨筋、上唇方形筋などの活発運動練習ができる）
4. 長時間歌うことにより自然に体力が身に付く

以上の優れている点があり、スポーツ感覚で参加できるなど、健康管理に役立つといえる。今後は長期展望に立ち、どのように生活面、体力面、精神面に向上が見られたかを追求してゆくことなどの課題がある。生涯学習形態は、生を受けたその時から他界するまでの生きている間全てを指す。したがって乳児期、幼児期、学童期、青年期、壮年期、老年期移行しながら全てが生涯であり、そこでの学習は生涯学習となる。通園、通学している時は各種機関に支援されるが、他は自力で開発して行かねばならない。そのような時、施設(場所)・企画・運営をする所が必要となる。その各種機関例えば学校などの保護を受けている学童において、社会教育機関は不必要かというところではない。生涯学習に学童の学校外教育である社会教育を重視してゆかねばならない。昨今、様々な社会世相に学童の学校外教育が軽視されているといえる。壮年期、老年期の生涯学習支援は順調であるが、今後は幼児・学童・青年における家庭教育（学童保育機関、ベビーシッター機関、こどもを預ける諸家庭等、塾などの場所など）を含めた社会教育（子供会、地区区民センター主催、あるいは各企業系コンクールや発表会や展覧会などの各子供向け事業など）の促進がさらに進められることを期待する。これらの面と先の壮年期、老年期の生涯学習面との融合を今後の課題としてゆきたい。

## 8. 諸外国の生涯学習とまとめ

韓国（2004年馬山市取材）では、社会人入学は入学試験の免除、入学金の免除がなされ、学費は高校卒業時入学生と同じ金額を支払う。この方式は国で定められているとのことで、ほとんどの大学で受け入れており、在学生の1割が社会人入学となる。しかし、徴兵制が引かれており、男子学生のほとんどは18歳入学ではなく、20歳から28歳ぐらいと様々であるため、一般社会人も年齢的には進学時の年齢を気にしなくとも良い風潮にあるといえる。また、ドイツ（2001年ハンブルク市で取材）も職業学校、職業訓練、仕事に従事などの後、大学に入る人が多い。その割合は日本よりはるかに大きい。中国（2002年瀋陽市取材）では、大学の横に社会



人専門の校舎があり、事務関係を大学と別に置いている。社会人学生は普通の学生と同じ授業には出席しているが、学生数が多いため事務関係を別にしているとのことであった。諸外国と比較してみると、日本はカルチャーセンターや本大学などで、科目履修形式で単発的に学習しているが、生活時間、金銭面においても大学進学、卒業とひとつの資格取得という自己財産を積み上げる時期がきたといえる。今後「長期講座」設定、「大学単位制」導入、「高大連携単位取得講座（高校在学生在が本大学のAOC講座にて単位を取得し、本大学生に進学後単位に摘要できるプログラム）」設定、「社会人AOC入学制度（単位を本大学入学後摘要）」導入など様々な特典を社会全般に提供し、生涯学習社会の構築が自己学習視野向上と本大学発信型社会貢献企画などと社会にその知的資源を生かせるAOCとなることを期待するものである。自己満足型生涯学習はすでに終り、社会は様々な中核点（本部的存在に置いて）「あなたは何を提供してくれるか、何を実践してくれるか」と問い、「自分は何ができる、何を社会に役立てれる」と答える時代に入った。単発的窓口開講ではなく、何かに連携して何かを求めさせ、1次的、節目としての終着点の設定や提供をし（すなわち、修了や卒業など）、実際に備えて受講生に手本を見せなくてはならない。合唱講座においては、例えば「浅井学園芸術祭」などを設定し、北海道浅井学園学術情報センター・ポルトなどで音楽祭や美術祭、論文発表会などを開催し、それが次のステップとなるように企画するなど工夫が必要である。

参考資料 「創立十周年記念誌」浅井学園オープンカレッジ  
発行所 北海道浅井学園大学生涯学習センター（2002年3月1日）  
資料提供協力 北海道浅井学園大学生涯学習センター